

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成31年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
31-1	ETC2.0データの活用と評価を通じた次世代ETCの基本設計提案	神戸大学 教授 井料 隆雅	A
<p><研究の概要></p> <p>本研究では、次世代 ETC システムの基本設計の提案を、ETC2.0 データを活用したケーススタディによる要件抽出、新観測技術の実道実験、匿名化や外部データ連携技術等の開発を基に、要件を満たすに必要かつ十分で、現行 ETC2.0 と連続性がある形で行うことを目指す。</p> <p><中間評価結果></p> <p>次世代 ETC システムの基本設計の提案に向けて、ケーススタディにより道路交通状況の分析ニーズを把握するとともに、外部データとの連携や各種観測技術の実用可能性についても検討を進めている。今後の研究の見通しにおいても成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 道路交通状況の把握・分析ニーズを考慮した次世代 ETC システムに必要な要件の抽出においては、見通しを明確にした上で、単なるケーススタディの集積に終わらないよう留意いただくとともに、あまりに高レベルな要求ニーズを設定して、その後のシステム開発が難しくなることのないよう留意いただきたい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第39回新道路技術会議において審議したものである。